

学校法人育成学園 H25年度 学校関係者評価表

1. 学校の教育目標

確かな技術、豊かな教養を身につけた調理師・製菓衛生師の養成。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・二年制課程の定員増に伴い、教育内容の更なる充実。
- ・退学者を減らす。
- ・離職率の低減。
- ・27年度からの調理師課程の新カリキュラムへの対応。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

学生・保護者への周知。

② 今後の改善方策

教職員が率先して教育理念・目標等を理解し、常日頃から学生・保護者に伝える。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

社会のニーズに照らし合わせ、限られた施設や経費の中で、学科編成をいかに合理的に組み直し、学生確保に努めることができるか。

② 今後の改善方策

教職員に教育方針のみならず、経営方針もしっかり理解させていく。

③ 特記事項

平成26年度より、神戸国際調理製菓専門学校の調理スペシャリスト本科及び製菓スペシャリスト本科が職業実践専門課程に認定された。

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限対応した、教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ・実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- ・より優れたカリキュラムの組み入れに努めること。
- ・より優れた教員・講師の育成システムの構築に努めること。

② 今後の改善方策

- ・常にカリキュラムの見直しに取り組んでいく。
- ・教職員に対する研修制度の強化に努める。

③ 特記事項

学生の卒業時の技術習得レベルの向上にも努めていきたい。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

一人一人に対するきめ細かな指導の実現にいかに取り組むか。

② 今後の改善方策

卒業後も卒業生が来校しやすい校内の雰囲気を作っていく。

③ 特記事項

25年度より、同窓会誌発刊に取り組んだ。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

担任の力をいかに向上させていくか。

② 今後の改善方策

全職員が担任に協力する姿勢を強く持つよう、徹底していく。

③ 特記事項

27年度入学生より新たに、学園独自の特待生奨学金制度を創設した。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備されているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

より実践的な調理実習ができる施設を増設できないか。

② 今後の改善方策

学園がレストランを運営し、調理実習等にも活かしていくような形を実現できないか、模索していく。

③ 特記事項

27年3月に、調理実習室及び一部教室の拡張工事を実施する予定。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

広報費のより有効な活用。

② 今後の改善方策

沖縄県の募集活動に対する合理化を図っていく。

③ 特記事項

募集パンフレットを調理師養成施設倫理規定に基づき、精査を行った。

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計検査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

ここ数年、財務基盤が安定しているので、長期的な設備投資計画等を検討していく。

② 今後の改善方策

学園の収入源の大部分は学生生徒納付金であるので、安定した学生の確保に努めていく。

③ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

・学生等の個人情報の管理の徹底。

② 今後の改善方策

・現状の学生管理システムに問題点はないかどうか、検証を進める。

③ 特記事項

最新の法令に基づいた防災計画の策定にも取り組む。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

学生のボランティアについては、時間的な制限があり、限界がある。

② 今後の改善方策

学園として、ボランティア活動をより啓蒙するべきではないか。

③ 特記事項

(11) 国際交流

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

近年は留学生の入学者が少ない。

② 今後の改善方策

受け入れ体制をアピールする方法を考えてはどうか。

③ 特記事項

毎年ヨーロッパ研修等は順調に実施できている。